創刊明治卅五年二月廿七日●明治卅五年三月廿七日第三種郵便物認可●毎月二回(一日十五日)發行●電話番町千七百四十五番●同五百廿番●遞送紙料●振替貯金口座東京壹壹弐二番

愛國婦人

●定價一部三錢五厘●半年分金四十二錢●一年分金八十四錢●廣告料一行金六十錢●發行所東京麹町區牛ヶ淵公園內愛國婦人發行所●發行兼印刷人山澤俊夫●編輯人竹內貞三

明治四十四年四月十五日發行

April. 15. 1911.

奉送の辭

我等五千萬同胞が、常に深厚なる敬意を表し奉る東伏見宮依仁親王殿下並に同妃周子殿下には、來る六月二十二日、倫敦ウエストミンスター宮殿に於て擧行せらるべき、英國皇帝ジヨウジ五世陛下の戴冠式典に參列の、勅命を奉じ給ひ、東郷乃木兩大將以下の各隨員を伴はせられ去る十二日を以て横濱御解纜、遙に蘇士を經て渡英の途に上らせ給ひぬ。

抑も英國今回のことたる、同國稀の大典たるは勿論、又實に世界史上の盛儀にして、歐米各國も亦元首若しくは皇族を參列せしめ、競ふて其の盛典を祝せんとし、我皇室に於かせられても、同盟大英帝國元首の大典に對する最善の厚誼を表する爲め、ジヨウジ五世陛下が御幼時より、直接海軍の職務を御執り遊ばさるるが故に、特に東伏見宮殿下並に同妃殿下に此の大命を御下し遊ばされたるやに漏れ承る。

御名代宮殿下は、現に海軍少將の要職にあらせられ、殊にかの三十七八年戰役當時、黃海上に御勇戰遊ばされたる殿下の颯々たる御英姿は、未だ彼我國民の記憶に新なるところ、同妃殿下も亦、愛國婦人會名譽會員にあらせられ、慈悲圓滿、才德兼備の御方にてまします、(殊に兩殿下は同會の成立に就て御心を垂れさせられ、同會が今日の盛況を致すもの、亦其の御力に待つところ多かるべし。

且御隨員としては、武名世界に赫々たる東郷乃木兩海陸軍大將あり、戴冠式の盛儀は、我が御名代宮の臨御に依りて、其の盛大を加ふるものあらむとす。されば兩殿下今回の御渡英が、彼我將來の國交上に及ぼす効果も、亦決して尠少ならざるべしと信す。

されど、今や三春の佳色に背き、遠く酷熱の境を過ぎ、萬里の波濤を凌がせ給ふ兩殿下の御劬勞に就ては、實に恐察し奉るに餘あり、我等は茲に恭しく兩殿下の光輝ある御渡英を祝賀し奉り、更らに謹みて御健康と萬里行程の御安全とを祈り奉る。

東伏見宮依仁親王殿下　同妃周子殿下

●御名代宮殿下御渡英御日程

東伏見宮殿下並に同妃殿下には去る十二日正午十二時郵船賀茂丸に御乘船遊ばされ御機嫌麗はしく横濱御解纜あらせられたるが、御航海中の御日程を漏れ承れば左の如し。

四月十三日	神戸御着
同　十五日	同所御發
同　十六日	門司御着
同　十七日	同所御發
同　十九日	上海御着
同　廿一日	同所御發
同　二十四日	香港御着
同　二十六日	同所御發
五月一日	シンガポール御着
同　二日	同所御發
同　四日	ペナン御着
同　五日	同所御發
同　十日	コロンボ御着
同　十二日	同所御發
同　二十四日	スエズ御着發
同　二十五日	ポルツセツド御着發
同　三十日	マルセール御着
六月一日	同所御發
同　八日	倫敦御着

翌九日より英國御滯在、戴冠式御參列後內地御旅行の御豫定なるが、其後の御動靜は御渡英後にあらざれば御確定遊ばされざる由に拜承す。

因に親王殿下の歐洲に御渡航あるは、今回が第二回目にて、曾つて佛國に御留學あり、業を卒へさせられ海軍少尉とならせられたる折英國に渡らせられたる事あり、又妃殿下の海外に御渡航あらせらるゝは今回が初めての御事と承る、尙英國より御歸朝の途につかせらるゝは八月上旬なるべしと。

本號主要目次

▼奉送の辭……
▲御名代宮御渡英御日程……
▼男女問題を解決するの鍵は戀愛の二字なり……文學博士 法學博士 有賀長雄
▲農家の婦人(下)……農學博士 横井時敬
▼婦人と神經衰弱(上)醫學博士 土田卯三郎
▲箏曲評釋 松の下風(廿三)……京都大學講師 池邊義象
▼沖繩風俗……農學士 志賀重昂
▲小說 風馬牛(九)……園鯛
▼講談 宇都宮孝子傳(六)……大島光利
▲其他和歌、俳句、雜錄等外に愛國婦人會記事二頁、特別附錄
▼挿畫……岡落葉
●本紙(附錄共)十二ページ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

男女の問題を解決するの鍵は戀愛の二字なり

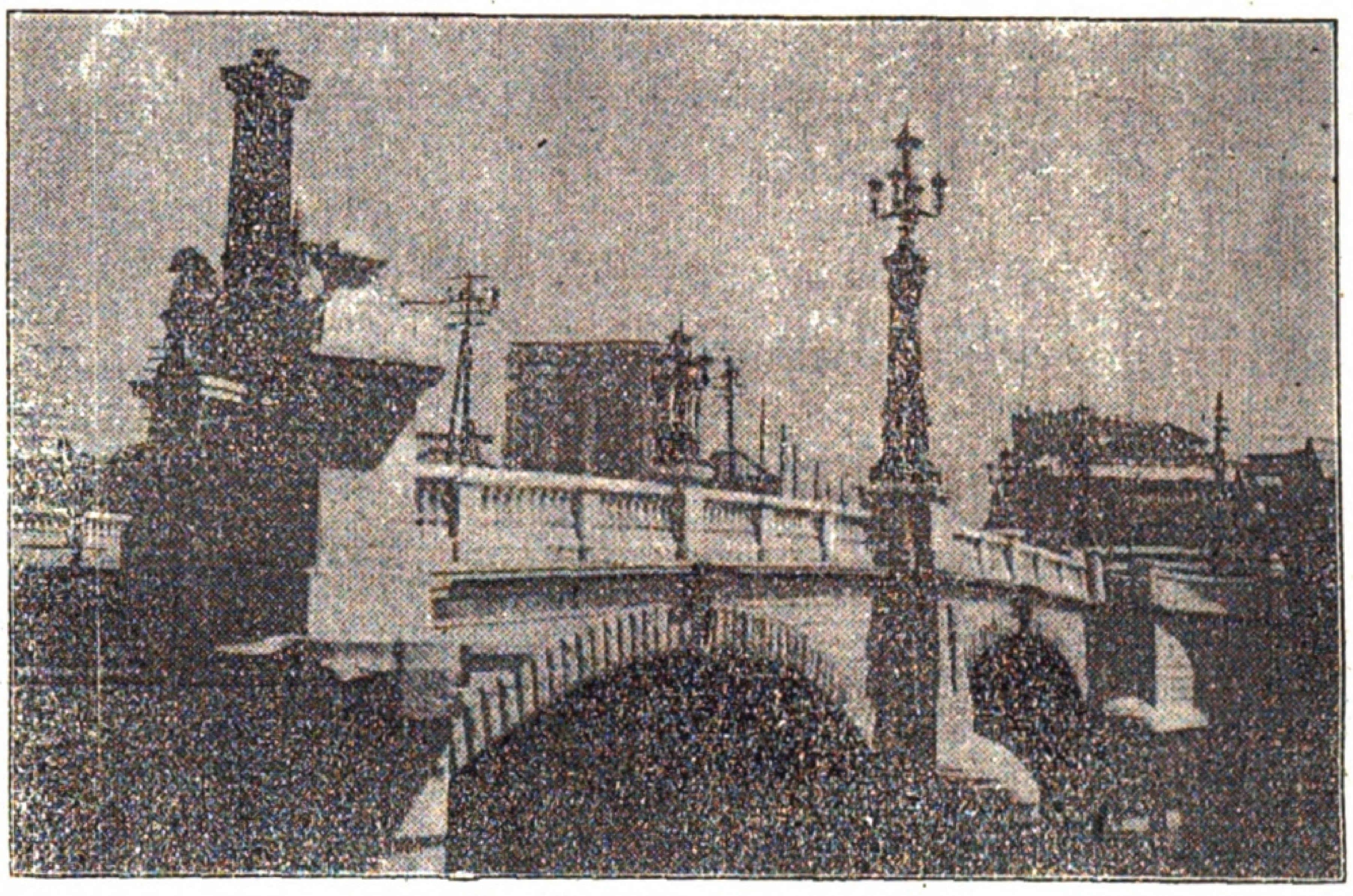
文學博士 法學博士　有賀長雄

婦人問題を解決するには、種々の方面から觀察し攻究せねばならぬ事は勿論であるが、先づ婦人問題研究の三方面とも云ふべきは、第一、單に人間としての女、第二、社會の一人としての女、第三國家の一人としての女である。第一は少くとも人體上の性格、人爲的の性格、經濟上の性格等の諸方面から論せねばならず、之が婦人研究の基礎となるべきものであるだけに、又非常に大なる問題であつて之を悉く解決するのは、一朝一夕の業では無いのである、次に社會の一人としての女と謂ふのは、婦人は妻となり母となるべきものであるか、或は又獨身たるべきものであるか等の問題は元より、總て社會上から婦人を研究するのである、第三は國家對婦人の問題で、例ば我國の憲法上並に法律上から觀ても、男女の資格に就て不平等なる所があり、又矛盾する所がある。或は濠洲の或國又は佛國の一地方に於ては、現に婦人に選擧權を與へて居るところもあるが、此の如きは果して道理に適つて居るのであるか否かなどを研究するのである。

以上三方面の中で、最も重要なるは、第二の問題の研究であつて、之は獨り婦人は結婚すべきものであるか否かと云ふやうな簡單な問題では無く、元來男女兩性の區別は、巧妙なる造物主の配採になつて、而して互に相慕ひ相愛し相結合するやうに出來て居る、其の間の機秘を十分に研究する事であつて、約言すれば男女間の戀愛である、此の戀愛が實に大なる研究問題で、此の問題にして解決さるれば、他の二問題は自ら解決せらるゝことゝなるのである。

戀愛の二文字、之を善く利用すれば社會に有力なる効果を與へ、之を利用せぬのは社會の大なる損失である。現今歐米に最も勢力ある或る宗教の如きは、此戀愛を宗旨上に利用して大に効果を得て居る、我國に於ても之が陰然として過去の歷史を動かして居り、我國々史上から女子の感情に由つて動かされた現象を除外すれば、他は殆んど無味乾燥の感がある而し東洋では比較的に戀愛を利用したる時期は少いのであるが、現代の歐米には此の利用が大に現はれて居り、歐米の男子は一に滿足なる戀愛を得んが爲めに活動して居ると云ふやうな有樣である

又、男女間の戀愛は、常に麗はしき文學となり詩歌となつて居るので、文學或は美術の上から女の影を除外ば、殘部は皆零であり、我國の精華たる美術上からも婦人を除けば、其の跡には何物も殘らぬのである。



新築の「日本橋」

要するに、男と女とが一定の狀態に於て結合を希望するのは、動かすことの出來ぬ天の配採である、此の動かす可らざる使命を如何に利用すべきかは、大なる問題であると同時に、此の問題にして善く解決され、善く利用されたらば、社會の萬象は悉皆解決し盡さるゝであらう。故に男女間の關係が、正理に悖らず、純潔に發達して誤らるゝ事がなかつたならば、戀愛誠に結構であるが、かくなるには第一男女の教育が必要である、教育無くては自然正邪の判別にも惑ひ不正理に陷るの虞があり、又戀愛が一段邪路に迷ひ入る時には、其の害は實に計るべからざる者となる、よくよく戒め愼まねばならぬ事は言ふ迄も無いのである。

又、どうすれば婦人は男子に愛される事が出來るかと云ふことは、一般的には云はれず、男子の地位、境遇、並に其人其時に由つて異なるものであるから、よく此間の機秘を察せねばならぬ、又愛の目的物たるに適當な男子を見出し得る婦人は必らず成功し得るのである、之は教育の力のみによつて出來ることでは無い。

畢竟、戀愛を導くに、高潔なる精神と健全なる思想を以てし、巧に之を利用して誤ることがないならば、總ての婦人問題は茲に全く解決し盡されて、家庭も社會も皆平穩無事に且つ益々發展進歩する事となるのであらう。

農家の婦人（下）

農學博士　横井時敬

▲尚一歩を進めて一般社會の人々に對して忠告せねばならぬのは、奢侈贅澤に陷らぬやう呉々も注意することである。無論都會の空氣は日に月に奢侈に流れ行く、殊に歐米には、住む可き家屋も持たず、宿屋住居を爲て其の日〱を送つて居る、いかゞはしい婦人も居ると云ふやうな、馬鹿氣切つた風習もあるが、是等は何等社會に利益を與へる事もなく、只自己の淺間しき虛榮心を滿足させるだけである、かくして社會は日々に不良の狀態に陷つて行く、嘆すべしである。

この虛榮の風習、不健全なる風潮が、動もすれば都會から田舍の地に持ち込まるゝ危險がある。而も之れが往々婦人によつて移植される事があるが、かゝる虛榮の風潮を婦人自ら持ち込むに至つては其家は必らず滅亡するに極つて居る。

▲元來都會の家產は起り易く、從つて滅し易い。之れと反對に田舍の家產は起り難く滅し難い、それは、都會の富と地方の富とに差別があり、都會では金錢が其家の富であり。地方では土地が其家の資產であるからである、金錢には限りが無いが、土地には限りがある、金錢は同一額を幾人もが同時に所有ことが出來るが、同一土地は其の所有主以外、同時に夫れを所有ことは出來ぬ。金錢は一度失つても二度自己の掌に入れる事が容易であるが、土地は却々容易で無い、そこで農家は滅するに難く、又一度之を滅した以上、再び起つて家運を恢復する事は餘程困難である。要するに農家は宜く子々孫々相傳へて幾久しく繼續すべき道理である。復左樣なくてはならぬのであるが、然るに往々地方の地主に滅亡の不幸を見ることがある。夫れは元より男子が惡いからで、罪はかゝつて男子の上にあるのであるが、婦人の罪亦決して輕いとは云はれぬ。則ち今日までの事實を觀ると婦人が男子を助けて共に其家の滅亡を迅かならしむる事が實に十中八九であるからである。

▲農界の婦人は一家を極質素に保つことに十分の注意を拂はねばならぬ。質素は實に地方人の生命であり、又榮譽である社會が地方の地主に對し敬意を表するは其の生活が質素で單純であるからであつて、若し地方の人達までもが浮薄なる虛榮の風潮に感染して、ハイカラ風を吹かせるやうになつては、抑も社會は末期である。

▲入るを計つて出づるを制することは、いづれ如何なる社會にも必要なる戒めであるが、特に農家では能く〱此點に心を用ゐ、無用の消費の爲めに生計の不足を生ずるやうなことの無いやうに注意せねばならぬ。若し不幸にして、農家が一度負債を起すことゝもなれば、其の一家の運命は正に滅亡に近からんとして居るのであつて、殆んど再起の餘地は無いのであるかゝる。不幸に一家を陷れるのも、益々其家の基礎を固うして、光榮ある地方の地主としていやが上にも社會の敬意を拂はしむるのも、前述の如く實に唯々婦人の力にあるのである。

注意!!

本號には日英博覽會より本會に授與せられたる名譽の金牌及賞狀を一頁大寫眞附錄として添ゆ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人と神經衰弱（上）

醫學博士　土田卯三郎

世間には往々平常身心の衞生上には注意を怠り勝にして、一度病氣の兆候が現はれ稍々苦痛を感ずるやうに成つてから始めてそれ醫師よ藥よと大狼狽を爲す人があります、既に身心に病氣が起つた以上は速に醫師の診察を乞ひ其治療を受くるより外はありませんが病氣が起つて始めて狼狽をするのは賢い擧動とは云はれません、殊に現在の醫學界の智識は未だ人間の身心上に起る病現象の總てを根治する丈の程度には進歩して居りませんので、夫れよりも身心に病氣を惹起さぬやう豫め衞生上に注意することが第一の策であります。

それには如何したら宜しいかと云ふと先づ自然に反かぬと云ふことが肝要な條件の一つであります、凡て自然に反した行動は身心に病氣を起す原因となります、例ば運動の不足、之も自然に反した行動の一つで捕はれた獅子や虎の如き猛獸も動物園の檻の裡では病氣が起り易く、從つて其主たる原因たるべき運動不足を防ぐ爲めに始終狹い檻の裡を彼方此方と動いて少しでも不自然の狀態を脫して病氣に罹らぬやうに爲て居ります。之れと比較しては甚だ敬意を缺くるの處もあれど、近頃上流社會の婦人に神經衰弱やヒステリ等の病氣に罹られる方が大變に多いが、之亦多數は運動不足と云ふ不自然行爲が原因を爲して居るやうです、勿論之には我國の家屋の構造も關係が有り、我國の家屋內には疊を敷き込み其の上に寢起きを爲るやうになつて居りますが一度疊の上に坐ると誰れも立ち上ることが一寸面倒になるので自分が少しく身體を動かせば直に達せられる用向でも侍女などに命じて爲せると云ふ傾向に陷り易く結局は運動が不足になり勝になるし、又立働かずに靜かにヂッとして居れば誰も種々と物事を考へ込み頭腦を使ふことが多くなるので、遂には神經衰弱やヒステリーなどに罹ることゝもなるのです。

疊の事は我國の古い習慣ではあるし一朝一夕に之を變更する事は困難で事實上不可能でもありましやうが、かの歐米の婦人のやうに縱令上流社會の人でも自己の屬することは自己親ら處理整頓し一擧手一投足にも他人の手を借りると云ふやうなことの無いやうに注意したらば室內の起居動作も亦運動でありますから幾分か運動不足を豫防する事が出來ましやう我國人特に我國の婦人には立働くのを下卑た業のやうに考へて之を賤しむ傾向があるかと思はれますが、此の思想の誤つて居ることは今更ら玆に述べるまでの必要もありますまい。

又、例外はありますが一般に婦人は男子よりも意志が弱く判斷力に乏しいやうに出來て居るので事に當つて深く考へ込み煩悶し苦惱することが男子よりも激甚い、之が婦人に神經衰弱やヒステリー患者の比較的に多い原因となります、加之己を知らぬと云ふことが又此の病氣の一原因ではないかと思はれます、己れの腦力、己れの健康、己れの位置を省みず無暗と虛榮にのみ走り無理な欲望を起す結果は不必要な煩悶となり煩悶は遂にヒステリーとなり神經衰弱となる、畢竟自己の考が間違つて居る爲めに好んで此病に罹ると云ふことが多くはないかと思はれます。

洋の東西を問はず世が次第に文明に趨くに隨ひ是等の病氣に罹る者が殖えて行く傾向があるので神經衰弱やヒステリー等を一言に文明病と稱されて居りますが之は獨り生存競爭の激烈のみには原因せず、人心が競ふて物質的にのみ走り自己の程度を計らず働くことを嫌い樂をして金を得其上成る可く他聞の宜い地位を占めやうとあせるのに原因します。（つゞく）

戀の下風

（二十三）

●四季の戀

京都大學講師　池邊義象

（序）物のあはれはこれよりぞ、知らさらましや知らさらめ、時につけてうつる心、いつれかおもひのたねならむ。

これは、俊成卿の「戀せずは人は心のなからましものゝあはれもこれよりぞしる」といふ名たかき歌によりて作りいてたり。四季をり／＼の風物によりて、人の情の動くことをいへり。

（一）糸よりかけしみとりこそ、ねみたれかみのおもかげ、なかめせしまに色も香も、うつろひやすき人こゝろ。

これは春のこひなり、古今集なる遍照の「青柳のいとよりかへる春しもぞみたれて花のほころひにける」なとあるによれり、柳の糸のみとりのいと長く、打はへたるを見ては、寢亂れ髮のおもかけを忍ぶとなり。なかめせしまに云々は、彼の小町の「我身よにふるなかめせしまに」なとある詞をかり來れり。

眺めて在し間に、咲花の色も香もうせゆくごとく、かはりゆく人心の、頼みかたきをいふなり。

（二）薄きなさけをおりはへて、いとはかなくも泣きくらし、つゝむにある胸の火に、夜すから身をやこがすらむ。

これは夏の戀なり。薄き情なから、おりはへていと永くつゝき、おもふまゝならぬを歎くさまなり。むねの火に夜すからこがるゝといふに、螢のさまをおもはせたり。

（三）年ことにあふとても、ぬる夜すくなき契かな、なけゝとてやは照りそふる、影にそちゝのかなしき。

これは秋の戀なり。古今集躬恒の「年ごとにあふとはすれと七夕のぬる夜のかずぞすくなかりける」また千載集西行「歎けとて月やはものをおもはするかこちかほなる我涙かな」なとあるによれり。七夕の事はいはずもがな、月は歎けと照りそふるにはあらじ、それにいかなれば影にむかへはチヽに戀しきかとなり。

（四）小笹の上にたはしるは、わかれの袖のしらたま、おもひふるやの軒につもる、うらみもとけてしのびね。

これは冬の戀なり。たはしるとは走るといふ事にて、たは添へたる詞なり。霰の笹の上に走るをいふ。別の袖云々とは、きぬ／＼のあかぬわかれの袖のなみたを、霰の白玉といへるなり。軒につもるといひ解るといふも霰の緣語なり。おもひふるやは日かず經ておもふことにて、やがて古家にいひかけたり。

この一組は、戀は人の情の切なるものなれば、物ごとにつけて、必ずおもひおこすことを述べ、さて春夏秋冬のけしきにわたりて、その風物によりて動く心を古歌などをとりなして、つゞけなしたり。げに戀する人のこゝろはかくこそありけめ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

沖繩風俗談

農學士 志賀重昂

▲結婚の資を自分で作る糸滿婦人

神戸から三晝夜の航海波浪穩かに沖繩縣那覇の港に上陸したとする、先づ第一私等の眼につくのは男女共に下駄も穿かず草履も踏まず、高等女學校の生徒までも裸足で通學つて居ることであります。

又埠頭から沖繩縣廳所在地の方に向つて五六町程進むと、其所に魚市場があつて、手の甲に入れ墨をして破れた琉球風俗の衣服を着た賤しさうな女共が、魚を手々に攫んで私等のはサッパリ不明ぬ沖繩語て『買つて呉れ』と勸めて居ります、私は始めて之等の婦人を見て、如何にも憫然の情に堪へなかつたのです。

そこで私は茲に二週間滯在した間に、種々と沖繩の風俗などに就て研究しましたが、さて驚き入つたのは之等の婦人に就て次のやうな麗はしい事實が有る事でありました。

前述の魚市場に居た婦人は、多く那覇から南三里許り經たつた字糸滿と云ふ村から來て居るのでありますが、この小さい糸滿の村では漁魚より外に生業はありませんので、男子は南臺灣の傍り北九州の近くにまで船を進めて漁魚に從事し、又其妻や妹等は皆此船の歸るを待つて、其得物を前述の魚市場に持ち出して之を賣る、而して其利益の一部を各自に分配して、その金を宜く貯蓄するさうであつて、いざ婦人が結婚をすると云ふ場合には、其貯金で萬端の仕度をして、決して親や兄弟等の世話にならず、內地の婦人のやうに親兄弟の世話になる事は、寧ろ大變な恥辱と思つて居ると云ふことであります、私は此話を聞いた後で試みに糸滿婦人の貯金高に就て調査て見ましたが婦人一人に就き最少額が四百圓、多額のは約二千圓の貯金を有する婦人もありました。

又、糸滿には立派な水産學校の設けがあります、市町か大きな村落ならば兎も角、人口も至極少數い小字の一小部落が總ての經費を支出して水産學校を設けて居ると云ふことは、實に異例でありまして内地でも外にこんな事實は無いのであります、而も、此の水産學校には立派な教師が三人までも居て、熱心に水産物に就て研究して居り無論生徒も居ります、其の生徒ですが之は皆糸滿の村内に下宿をして居りまして其の下宿料は必らず一圓と云ふ規約が定めてあります、如何に物價の廉い沖繩でも一ケ月一圓の下宿料では所詮米代だけにも不足でありますが、然らば其の不足額は什麽するかといふと、各自下宿人を引受けて居る宅の義務と云ふことになつて居つて、糸滿の人達は悅び進んで此の義務を負ふ事を名譽として居るのであります。

これに由つても獨り婦人のみで無く、一般に糸滿の村民が如何に富裕であつて又如何に貴い精神に富んで居るかゞ判りませう。

二週間の滯在日數盡きて、私が那覇埠頭に歸る途すがら、此の魚市場に於て再び魚賣る婦人を見た時に、私は轉た敬意を表しました。

小說 風馬牛（九）

園蜩

「お前たち仕度も身分相當にせねやあならないが、少しは道子の事も考へて、質素にしなさいよ」とツロ〳〵母子の虛榮を戒しめかけた所へ、女中の梅が

「御新造樣、山吹屋の旦那樣が御入來になりました」と云ふから、母親も華子も喜んで

「ア、然う、奧の座敷へ請して置きな」と云つて直ぐ母子とも驅け出した、けれども仁兵衛は元來山吹夫婦が大嫌ひだから例の碁朋輩の家へ出懸けた

山吹市三は戶主ではあるが先代の末子で華子の母を頭に四人の姉と二人の兄とあつたけれども二番目の姉と兄二人とは死んで山吹屋の家督になつて後商科大學へ入つて今年の秋卒業した。華子の母は惣領で、今は兩親も亡し、市三とは二十から上も違ふ爲め、山吹屋の顧問なり監督なりをして、殊に似合つた氣質であるから双方靠れ合つて、奸曲けた相談には能く駒が合うて居る、又朽木彫太郎は兩親とも在るが、一人子息で兄弟姉妹も無いから、氣儘放題に育つて去年から商科大學に入つたけれども、始終山吹の庇蔭で、落第の厄を免れて居るのである。

「市さん能くお入來……マア主人の頑固にも困るよ、華子の仕度に就てもねえ道子の事を考へて質素にせいと云ふけれども、先方さまが先方樣だから此方の身分相當位では肩身が狹いし、又先方樣でも、御親類や何かへ對しても、御迷惑だらうからねえ。」

「然うですとも、最初道子ちやんの縁談の時にも、朽木君が、僕に「二萬でも三萬でも出すから十分仕度さして呉れ」と言つた位です、今回は何とも云はないが……今回は此方から勸めた位ですから出せとも云へないけれども、多大兄哥に奢つて貰ひたいですなあ、少しやあ、此方でも骨が折れやうが、嫁つてさへ了へば後は華ちやんの腕に有ることだからねえ、……ねえ華ちやん……ツ」

「アラ、イヤ叔父さん、私其樣な腕なんかないわ、お母さん、始めての事ですから私だつて少しやあ奢つて貰ひたいわねえ、それに加之先方の御親類のツラね、アノ岩井さん家へ嫁したお文さんねえ、彼の方は從妹さんだつて、……大變な仕度な仕度だつたと云ふことよ、だから、私も餘計に心配だわ、而して又梅の話聞いたでせう、近所でも皆人私の大評判で、すとサア……和國屋では今回大した仕度だらうツて、其れでねえ母上樣姉さんに仕度が要らなかつたから私に二人前して頂戴な……私父上さんにも云ふわ……」

「其れやあ然うだわねえ、先私に任して置きな可いやうにして進げるよ、市三ッあんお前今回はお媒人だから十分お前さんからも主人へ云つてお呉れな……」（つゞく）

水にうく

スミス石鹸

浮石鹸を撰み玉はゞ

品質純良にして効用特殊に芳香薫しく且つ能く實用に適し經濟的にして又體裁優美價格亦低廉なれば家庭用又進物用に最も適せるものなり浮石鹸を撰み玉はゞ二個續き美麗なる紙函入

スミス浮石鹸を召せ

移轉祝に 歌書特賣

作歌學圖語大意講義	金六十錢
各題作法作例用語集	金六十錢
同書續編（新題の部）	金六十錢
懷中常語雅譯辭典	金一圓廿錢
明治正風和歌一萬集	金七十錢
評釋付四季作歌の栞	金四十錢
稻𦾔門月次和歌集	金七錢つゝ
初學通信敎授入門規則	無代呈

●振替口座東京一三二九八番

麻布本村町百九 速成作歌學會

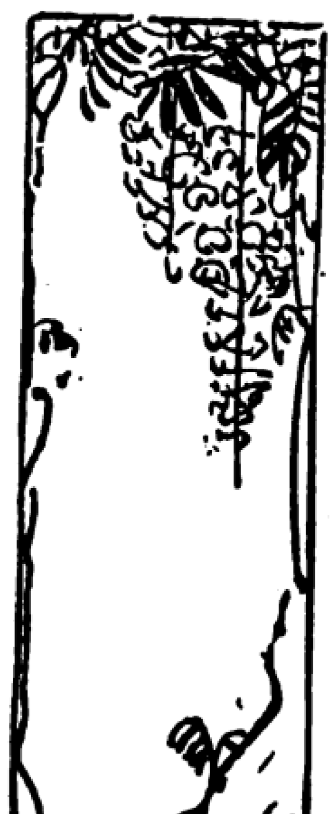
本會敎科用商店非賣書

列車

▲新橋發	行先地
午前五時卅分	國府津行
同五時五十分	大垣行
同九時零五分	横須賀行
同九時三十分	同
同十時十分	國府津行
同十時卅五分	神戸行
同二時四十五分	國府津行
同三時廿五分	下の關行（急）
同三時五十分	沼津行
同五時	横須賀行
[illegible]	[illegible]津行
同八時十分	國府津行
同八時四十五分	神戸行（急）
同九時廿分	國府津行
同十時四十分	下の關行

同八時四十二分	國府津發
同九時廿七分	横須賀發
同九時四十分	神戸發
同十時卅九分	國府津發
同十一時五分	横須賀發
同一時五十分	國府津發
同二時三十分	下の關發
同三時十七分	國府津發
同四時十分	横須賀發
同四時四十五分	濱松發
同六時五十八分	國府津發
同七時廿七分	横須賀發
同八時十二分	國府津發
同八時卅五分	大垣發
同八時五十分	神戸發

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



應募和歌

佐々木信綱先生選

▼課　鴛鴦▲

天

綾羽少し夕月受けぬ鴛鴦の汀はなれて夢に入るとき　遠江　山下彌生子

（評）着想清新にして巻中第一の作

地

池水の岸の柳の朝露に鴛鴦のつがひのむつれ居る哉　麻布　浪子

（評）うつくしき境を見出したるをもて採る。

人

梅の花ちりうくいけの岩かけにあそへるをしやいかにのとけき　岩手縣西磐井郡平泉村　渡邊豊惠子

（評）結句のいひざま新らしからぬを難とす。

秀逸

○きさらきの朝の間さむしかれ蘆のあしのたえまををし鳥のなく　北海道　五十嵐やす子

○しづかなる峽の汀にむつみつゝうき世のほかにあそふ鴛鴦　臺灣　浮洲德子

○氷る江に眠れるをしの一つかひ獨りとけたる心なるらむ　長野　北原こと子

○をし鳥のうきねの床もぬるみけんいけん汀のあしの芽さし來ぬれば　赤坂　清水まつ子

○をし鳥のつかひはなれぬさま見れは物おもひ羽のありとしもなし　山口　末田竹子

○百とりの花にうたふを色かへぬ水にやすけくあそふをしとり　豐橋　平松いと子

○長閑けさに池の氷のうちとけて思ひなけにもうかふ鴛鴦　千葉　土川靜子

○ふとわれにねたみ心そおこりたる鴛鴦飼ふは罪にあらずや　岩代　爲田吉野子

佳作

○ほろ／＼ともゝの花ちる池水にあそへるをしのむつましきかな　横濱　鈴木まつ子

○人もみなをしの契りにならひなば家の内には風もたゝしな　芝　土師利根子

○狩人の行くともしらずをしどりの遊ぶを見れば池になみたつ　岡山　宗本吉子

○山遠く水も靜かにをし鳥の波をも立てゝ遊ぶ樂しさ　備後　荒木科子

○何事もおもひなきさの波の上にうきふししらひをしの眠れる　尾張　吉田通子

○風吹く濱を靜めてをし鳥のふた心なく遊びけるかな　備後　世羅鶴子

○暖かき蘆の花さく古池に綾の衣の鴛鴦を見るかな　富山　千葉東菊子

○餌をやると池におりたつ庭下駄の音によりくる鴛鴦の群　岩代　長谷川吉野子

○花うかふ池にあそへるをし鳥はあらき獵男もれらはさるらむ　長崎　相部芳子

○春の日ののとかに霞む大池にかもめも眠りをしもねむれり　兵庫　三畑たか子

○さくら鯛つる舟見えてをしとりののとかにむれる春の海面　岡山　西村晏子

○むつましく池にれむれるをしとりはいかにのとけき夢結ふらん　丹後　守田とも子

○冬寒みお池の水は氷れともをしのつかひははなれざりけり　神奈川　足立原とく子

○背子か書て我に與へし油繪の鴛鴦のつかひのうつくしきかな　豐橋　都築悦子

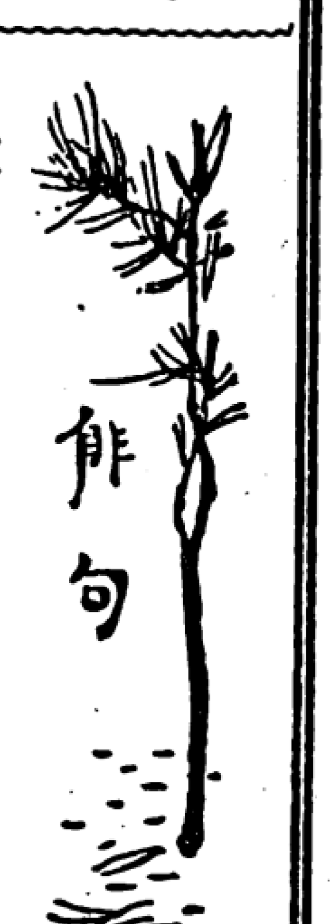
○ゆるやかに青柳ゆらぐ池の面に水もにごさず遊ぶ鴛鴦かな　京橋　宇佐見こま子

○夕日さす池のみぎわにつれ立ちていとむつましく遊ふをしとり　岡山　森島古野子

○朝かけに結ひし氷もとけそめて御堀に浮ぶをしの一むれ　芝　藤の花

○つかひして離れぬ見れば大君の勅を守るか鴛鴦なれも　岩代　小川しん子

俳句



鳴雪先生選

天

桃の里鮎汲む川も流れけり　富山縣石動町七七九　千葉東菊子

地

人待ちて稚子のまろねや春の雨　美濃中津町　酒井蝶子

人

白妙の不二を照らして春の月　三河國碧海郡旭村　岡部ひろ子

佳作

草の餅白紙敷て重ねけり　越中　川崎政子

美しき人もおはして桃の家　同　同人

うか／＼として居られぬ雛子哉　靜岡　齋田とめ子

水ぬるき川のやなぎや風が吹　岡山　西村晏子

彿きざむ小刀折れて春寒し　播磨　長田あき子

耕牛の戻りを渡る小川かな　同　同人

春雨に紐のぬれけり緞割笠　備後　妹尾常子

傘さして野に牛飼ふや春の雨　同　同人

垣越に青ぬた贈る少女哉　同　同人

障中に入日を拜む彼岸哉　同　同人

新嫁の日かさ追ひ行く胡蝶哉　岡山　西村清子

鹿毛栗毛勇む牧場や春の風　青森　長谷川やゑ子

鶯の聲に見あぐる峠哉　同　同人

長閑の芝生に遊ぶ小猫かな　同　同人

御羅たいてうつゝむや春の宵　日本橋　鈴木粂子

南岸や蘆吹く風の暖み　富山　千葉東菊子

物に怖ぢる其人の恐や龜の鳴く　美濃　酒井蝶子

笛吹いて霞む東寺の稚子の群　同　同人

春の水珊瑚の杖を洗ひけり　三河　岡部ひろ子

▲愛國文苑▼

坂正臣先生選

⊙和歌　雲雀（四月十日締切）故郷の花（四月廿五日締切）

佐佐木信綱先生選

⊙和歌　深夜杜鵑（五月十日締切）雨中早苗（五月廿五日締切）

內藤鳴雪先生選

⊙俳句　春期雜咏（五日、廿日の兩度締切）

▲愛國文苑▼

●懸賞和歌應募諸姉へ

坂正臣先生選「春雨夜靜」の分は選者の都合より次號に廻す事に致しました。不惡しからず御承了を願ひます。（係り）

雲井の御影

▼三月一日(水)　皇后陛下沼津御用邸御出門駿東郡原町植松亭へ行啓遊ばさる◎泰宮內親王殿下鎌倉御用邸より小田原御成、竹田宮妃殿下並周若宮殿下に御對顏◎北白川宮富子殿下並武子女王殿下葉山より御歸京

▼同二日(木)　閑院宮殿下第一師團長の御資格に依り笠間方面へ成らせらる、

▼同八日(金)　東宮殿下葉山御成◎東伏見宮同妃殿下御歸京

▼同九日(土)　獨逸大使ムム男解任狀捧呈、御恩賜品あり

▼同十日(日)　朝日姫長博恭王殿下御微恙の爲め御歸京

▼同十一日(月)　泰宮內親王殿下鎌倉より、竹田宮殿下千葉より、同歸京

▼同十三日(水)　東宮殿下葉山より御歸京

▼同十四日(木)　北白川宮大妃殿下葉山御別邸御成、即日御歸京

▼同十五日(金)　泰宮內親王殿下沼津御用邸へ皇后陛下の御機嫌御奉伺遊ばさる

▼同十六日(土)　皇后陛下沼津御用邸より興津川崎氏別邸へ御成

▼同十八日(月)　閑院宮同妃殿下水戸御成

▼同十九日(火)　梨本宮同妃殿下名古屋より御歸京

▼同二十日(水)　東伏見宮殿下貴衆兩院主催御渡英御送別會に臨ませらる

▼同二十二日(木)　宮中皇靈殿にて御祭典の事あり

▼二十四日(金)　東宮殿下葉山御成◎東伏見宮殿下御留別御宴

▼同二十五日(土)　聖上陛下東伏見宮朝香宮兩殿下を午餐會御召、遣英艦員中の數氏に御陪食仰付けらる◎東伏見宮同妃殿下逗子御成

▼同二十六日(日)　梨本宮殿下名古屋御歸任◎竹田宮北白川兩殿下沼津に皇后陛下の御機嫌御奉伺遊ばさる

▼同二十七日(月)　東宮殿下横須賀御成軍艦鹿島へ御乘艦渙著に向はせらる◎閑院宮殿下横須賀へ北白川宮習志野へ、各御職務を以て御成

▼二十九日(水)　北白川宮殿下千葉より御歸京

▼同三十日(木)　三皇孫殿下沼津並葉山より御歸京

▼同三十一日(金)　梨木宮妃殿下名古屋御成

愛國帶の普及

質素儉約を旨とする本會の主旨は追々會員諸姉にも貫徹すると見え、其目的を以て製作したる愛國帶は次第に普及し現に靜岡支部會員並に茨城及東京兩支部の一部會員は殆んど皆愛國帶を着用さるゝ事となりました。

清國我國から一千萬圓を借りる

兼ねて噂があつた清國が金一千萬圓を我國から借款る事は、愈々事實となり、金貨一千萬圓の公債を日本の市場に於いて募集する事を横濱正金銀行に一任する契約が成立して去月二十四日に其の調印を終りました、之は日本が外國の公債を引受け外國に金を借す嚆矢であつて日本の經濟史に特筆すべき出來事であります最も英佛獨米の四國が連合して金一億圓の清國公債を引受ける契約が纏まりかけては破れ度々ゴタ／＼が附いてどうなつたか判らぬところに横合から日本が單獨で手取り早く一千萬圓を引受たので各國は呆然として一驚を喫して居るでせう。

今流行の教育玩具

（銀座伊東屋玩具店調べ）

▲獨逸製オドケ自働車　特長は乘つて居る紳士が自働車の動くに連れてラツパを吹くところにある、センマイ仕掛けの頗る巧妙なものであります。（價凡一圓三十錢位）

▲同馬車　これも動力はセンマイ仕掛けで無暗と走せ廻る室內玩具として珍無類のもの、獨り小兒ばかりで無く大人をも一笑せしむる。價九十錢位、製造最も堅牢

▲飛行機　當世最新流行の飛行機玩具、金製の輕妙なる物（五十錢位）

●橋本救世丸岩佐壯婦丸の名譽

故赤十字社病院長橋本子爵處方救世丸、宮內省侍醫岩佐男爵處方壯婦丸は今回英國皇帝戴冠式に我皇帝皇后兩陛下の御名代として御參列遊ばさるゝ東伏見宮親王殿下同妃殿下には御出發に際し御用藥として右兩劑を御嘉納あらせ在候趣にて同宮附家令式部官小野保知氏より右御嘉納の趣き御沙汰有之尚右は陸軍大將乃木陸軍大將等は我陸海軍々備藥として最も愛用せられ居る趣なりと云ふ

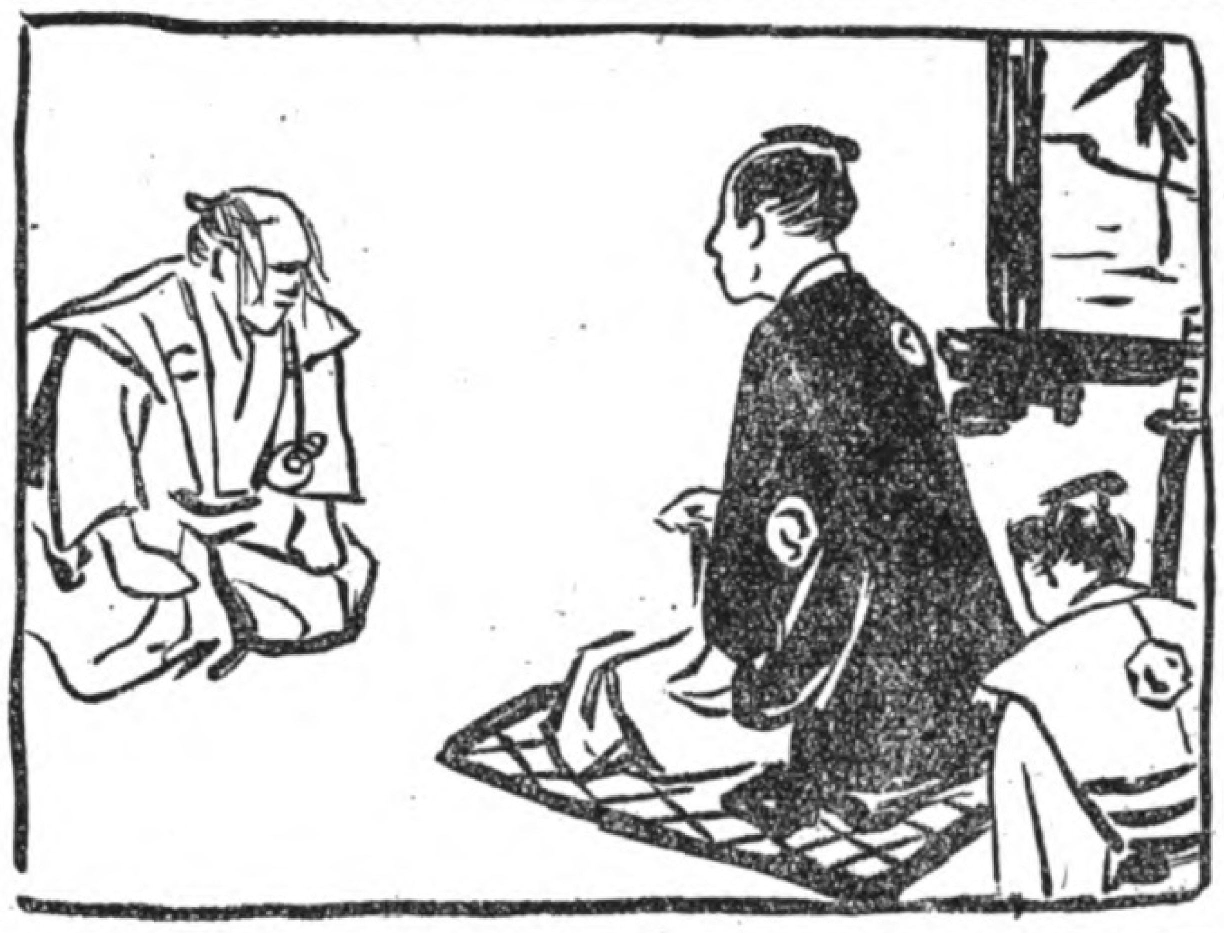
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講談

宇都宮孝子傳（六）

大島光利口演

血刀振るつて市兵衛は砂原に仁王立、市『斯なる上は詮方なし、敵と思ふお方〳〵あらば尋常に御相手せん、前後の事情は各方篤と御承知の事ならば是非善惡の御判斷もあらう、何れなりとも御返答承はりたいと詰寄れば、薩摩の御藩はニッコリ笑つて、士『此所の容子は見屆けたり、未だ年若とは見ゆれども無事を計らふ和殿の心底、却つて詫るも同然に、重ね重ねの口上を背入れず、宍戸氏の無得心、猶先んじて手を下したるは禮を失せり、されど我々は同藩なり、重役方の御心得もあらん先づ今日は此儘に我々一同は引取り申さん、若し他日和殿の首取と君命あらば再び來たらん、はやお去らばと云ひ捨て、ヒラリ〳〵と舟へ飛乗る、纜脱て沖の方帆を捲上げて水足付け順風に誘はれて沖の方へと出帆なす、市兵衛ホツト一息吐朱に染たる宇源太の敢なき死骸を伏拜み罪を惡んで人を惡まず爾に出て爾に反る自業自得と雖も兎に角氣の毒千萬、コレ喜助參り居るか　喜『旦那樣先刻からの御容子を御隱居樣が見て參れとの吩付、仰がなくとも來たいと存じて居りました處早速此所へ駈付ましてコ、デ拜見して居りました、アヽ危い事で御坐いましたが先は上首尾御芽出度御坐います、市『宍戸氏の死骸へは兎に角筵を掛置て他人が狼籍いたさぬやう、其方暫く見張りを致せ我は是より城內へ引返へし此場の模樣を重役に言上せん夫までは必ず死骸を動す事は相成らんぞ、吩付置て市兵衛は馬に飛乗り粛々と唐津の城內へ引返す、今大手を入らんとする時宇都木小三郎足袋跣足のまゝ駈來たり馬上をキット打仰ぎ、小『オー先生何とて御城內へ來たり給ふぞ只今の海岸の騷動主君が御聞及びになり折角伜の縁談整ひ芽出度折から要らざる忠義立に騷動を惹起したるは予へ敵對も同樣、歸り次第に繩打つて鹿兒島に送れよと、主君は殊の外の御腹立、君子危きに近よらず早々此の場を立退然るべし昨夜我々血氣に猛り門前まで押寄て惡口を云ひしが面目なし、偏に御免し下されよ、跡に殘りし御老母は門弟仲間が相談して何とか御世話仕れば必ず御氣遣ひ御無用、はや〳〵立退然るべしと眞實面へ現はして言葉を盡して止むれば、市兵衛は只首肯、市『貴殿の親切忝く存ずる、左れど身の安全を圖る爲、事を盡さず主家を立脱は是れ武士道の瑕瑾なり、身體皮膚父母に受け主家へ捨るは武士の慣ひ。死を賜はれば夫迄の事、武運に盡たる身の上と只諦めて切腹すべし何憂ふる事かはと顔色さへも更に變せず脇玄關より打通れば二人の目付は左右から詰寄、○『筑紫氏君命で御坐る早々御前へ出られヨ、市『ハイ御機嫌伺ひかた〳〵今朝の出來事言上なさんと出仕いたしたり、宜く御取次の儀をと云ひつゝ打連立、



て廣間へ來たる、軈て正面に志摩守殿、御側衆御近衆、家老用人等を始めとして列坐せり、遙か末席に手を突へる、志摩守殿聲荒らげ、殿『ヤヲレ市兵衛治に居亂を好み些細な事を咎め立、今朝海岸にて島津の御藩に刄傷せしとか確と左樣か、市『ハイ　殿『成らぬ堪忍爲るが堪忍と申す其方は其位ゐの事は辨へ居らう、千丈の堤も螻蟻の一穴より破られる、其方の要らざる忠義立より由緒正しき島津家文武の模範と云ふ薩摩武士より如何なる難題の來たるも知れぬ、是れ主家に害を及ぼすとは知らざるか白痴者め、先んずれば人を制す、先方より懸合の來たらぬ內に其方へ繩打つて鹿兒島に下手人として引渡す左樣相心得ろ、最おごそかに云ひ渡す、市兵衛恐る〳〵頭を擧げ、市『君々たりと雖、臣臣たるの道を盡さぬ不忠の市兵衛、父市左衛門元和の役大阪城中に骸を晒す其武功に因て家督相續お聞屆け、何一ツの御奉公ぶりも之なく、主君の御怒に觸る其罪萬死に當れり、左りながら私の遺恨を以て、事茲に及びしに非ず些か主家を思ふの眞心武士に背を悲み、終に眞劍の勝負に立至る、未熟不鍛錬の拙者も弓矢の神の加護ならん、掠り疵さへも受申さず勝利となりしは却つて君の御不興を蒙るの原因心外至極と存ずるが今將何をか申さんや、只主君御存意通りお取計ひの儀願はしく存ずる　殿『アー能申した夫市兵衛に繩打つて鹿兒島へ送るが宜い、と仰せられたが誰一人御受さるものなし、理なるかな、忠義の心筑紫潟其眞心を不知火のつれなき君の御掟ぞと云はぬは云ふに大丈夫が互に目と目で示し合、首うなだれて言葉なし（つゞく）

●北東京の大火（新吉原全滅）

出火の原因は煙草の吸殻にありとぞ、去る九日午前十一時二十分新吉原江戸町美華登樓より發火し折りからの烈風に火勢愈強烈を極め、遂に延燒十時間に渡り吉原十六町を全部灰燼に歸せしめたる外、淺草區玉姬町、田中町、山谷町、吉野町、橋場町及下谷區龍泉寺町、金杉下町、三ノ輪町・府下南千住の全部又は一部を燒失し、午後十時頃に至り漸く鎭火したるが總燒失戶數實に一萬餘戶其延燒區域は二十ヶ町村に渡り周圍約一里、負傷者も多大なる由にて明歷初年の大火以來の大慘事なりと云ふ。因に本會東京支部に於ては此の大火に就き軍人遺族並癈兵等の罹災者も多かるべければ速かに之等不幸の人々を救護せんが爲め淺草下谷兩區役所に就き急ぎ其調査をなしつゝあり。

ちいれもくせも　もは[illegible]けあい　一大奇方劑

本法は女髮結師安部歌子女史の多年實地研究したる秘法是迄の使用者を悉く滿足せしめたる一大奇法なり照會者は往復はがきにて申込あれ

東京麴町區三番町六七　小林濟世園

衛生に注意の男女方は彼れ是れ迷はずにみやけ油を御用ひなさい模造品四方にあれば長髮美人商標と東京人形町みやけ油本舖製に御注意信用ある店に販賣す

曩きに村井弦齋先生の賞讃を博し今又宮內省御買上の光榮を得たる

宮內省御用達
米山サイダー
米山オレンヂ
米山レモナード
米山ジンジヤ
米山ソーダ
米山サイダー
製造元　東京九段下　米山合名會社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●注意すべき入浴

=入浴の利害=
=身體の洗ひ方=
=湯上りの注意=

○湯上りの心地が爽やかなことは言ふまでもなく、衛生の上からいつて、非常な効能があるといふのは、血液の循環を盛にして、停滞する血液を緩和するから、身體の爲めには、此の上もない健康法になるのである。

○又湯上りの姿が美しく、見違へるやうになるのは、川柳點にある通り、女房にも惚れるといふ位である、是は垢付いた皮膚も綺麗になり、血色も美しいので、今までと見違へる程になるからのことであつて、入浴と美貌とが、離れられぬ關係に立つて居ることを言つたものに過ぎないのである。

○湯上りの心地、湯上りの容貌、此の利益見て、入浴の害を認むるものはあるまい、否、入浴に害はない、けれども、入浴によつて得べき利益を、入浴によつて失ふことがある、それは入浴の罪ではなく、入浴して身體を洗ふとき、その方法を誤まるからである。

○多くの人は、垢を落す爲めに入浴するのである、血液の循環は入浴の目的ではないやうに思つて居る、湯に入れば、垢を落すもの、垢を落さねば、湯に入つたものでないと思つて居るらしい。

○そこで垢すりなどで、無理に擦つて居る、鼠の糞みたいなものが、出る、それが垢だと思つて居るが、それは垢ではなくて、皮膚の表皮である、皮を剝いて垢が落ちたと思つて居る、女房の惚れる姿の湯上りが、皮剝のした顔になる、これで湯上りの心地、湯上りの姿に誇らうといふのは、間違つて居る。

○入浴は衛生上、美容上の必要な行事である。附着した垢を去り、血液の循環を能くするのが目的であるから、無理に皮を剝いて、バチルスの侵入を導くやうなことをするのは、入浴の法に背いたものである。

○入浴の注意は、身體を溫めて、表面の垢を緩和に落して、皮膚を傷めないで、美しい皮膚の艶を出し、其の艶を一層よくして、永く失はないやうにするのが肝腎なことである。

○先づ入浴したら、垢の落ちるやうに良い石鹼で洗ひ、無理に擦らずに、垢の落ちた處で、湯から上り、タオルで拭いた處へ、乳白化粧水レートかクレームレートを塗けて置けば、湯上りの色艶が美しいばかりでなく、永く湯上りの美しい色艶を保つことが出來るのである。

○入浴して脂肪が取れ過ぎたと思つたら、クレームレートを塗け、別に變りもないと思へば化粧水のレートを塗けるが宜しい、何方も皮膚の保護になり、色艶を磨き出す効力が多いから、入浴のときには、少くも其の何れか一方を用意して置くことが必要な注意である。（廣告）

苟も美容たらんと欲する諸姉は先ず

レーラロラ
Lait-Larola

を愛用せざるべからず

此化粧用美容劑は冱寒、寒風、硬水に堪ゆる様皮膚を保ち凍瘡、ヒビ、アレ、アカラ顔等を防ぐに尤も妙にして且つ皮膚を柔く滑に色白く若やかにす四季を通じて皮膚を細かに完美にす

M. BEETHAM AND SON,
CHELTENHAM, ENGLAND.

製造所　英國セルテンハム、エムビーサム、エンド、サン商會

各地著名の化粧品店にて實捌く

頭髮の美！頭髮の美！

生髮を増殖し健全にし且つ美しき光澤を保たしめんとせらるゝ方は必ず先づ此毛髮洗滌液

ペトロール、ハーン

を使用せられよ本品は目下歐米到る處の貴婦人、令孃間に尤も愛用せられつゝあるものにして毛根の腐を防ぎ光澤を增しフケ、カユミを去り脫毛を再生せしむる神妙なる特効あり、而かも何等の危險なく馥郁たる香氣を有し使用後極めて快感を覺えしむ眞に理想的のものなり

代價　小瓶一圓廿五錢　大瓶二圓

日本代理店　横濱市山下町七十番　エー、ハイム商會

經濟と實用とを兼たる帶地

愛國婦人會指定模樣考案

愛國帶

地質は綿七々子九寸巾二丈一尺ヅカイ更紗形本染

模樣之考案は高尚にして優美見本御入用之方は御申込次第差上ます

東京市麴町區九段坂下
愛國婦人發行所
電話番町五二〇
振替東京一一三八一

IVORY SOAP
アイボリー石鹼
Procter & Gamble, Cincinnati

日本輸入品に限り包裝紙に斜に「アイボリー」石鹼と記入し一見模造惡質石鹼と判別に容易ならしむ御購求の節「アイボリー石鹼」に御注意を乞ふ

有名なる

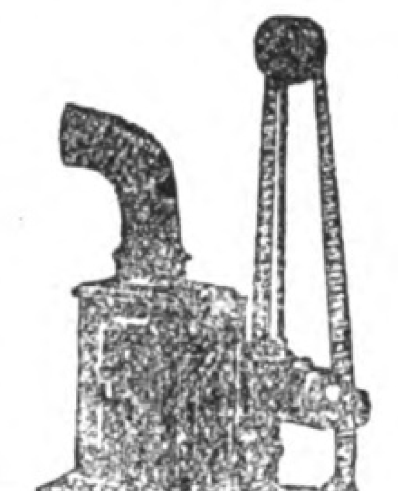
ハカマヤ

精撰廉價堅實懇切
裁縫巧妙染色保證

東京神田小川町
影山袴專門店
電話本局三八二六番

活動寫眞器械

フヰルム及幻燈給ランプ共
八圓五十錢　內地送料六十五錢
拙店輸入ノ活動寫眞機ハ幻燈兩用獨逸製ノ最モ完全ナル品ナリ



洋食道具一組（一圓三十五錢／一圓九十錢）
コーヒー道具一組（一圓四十五錢／一圓七十錢）
土路遊道具一組　一圓三十八錢
各送料廿錢
智惠の棒ツナギ（甲　七十五錢／乙　五十錢）同十錢

伊東屋玩具店

●眼、耳、鼻、咽喉、頭痛等の諸病に苦しむ者は速かにアクチナを試用せられよ

奏効如神（定價送料共十二圓）

營業品目　電氣醫療器　懷中電燈　探見電燈　其外電氣器具一式（營業目錄進呈）

本店　東京市京橋區尾張町二丁目（銀座通東側）電話新橋四一二二番（振替東京一八四七三）
支店　大阪市東區心齋橋筋博勞町南入西側
　　　横濱市吉田町一ノ二九（電話一九三二）

サンデン電氣商會

刻表

同七時　國府津行
同八時十分　神戸行（急）
同八時廿六分　横須賀行
同八時四十分　泊行

午後十二時　國府津行
同十二時卅分　横須賀行
同十二時五十五分　濱松行
同一時四十分　横須賀行

同六時　神戸行（急）
同六時廿分　國府津行
同七時十五分　神戸行（急）
同七時三十分　横須賀行

午前六時五分　岡山發
同七時五十五分　下の關發
同八時三十分　國府津發

午後十二時廿七分　神戸發
同十二時四十五分　横須賀發
同一時九分　沼津發

同五時三十二分　國府津發
同五時四十五分　泊發
同六時十八分　横須賀發

同十一時四十二分　横須賀發
同十一時四十八分　京都發
午前十二時十四分　横須賀發

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

優良なる舶香水を望まるゝならばゴスネル會社製を需められよ

ゴスネル會社
倫敦 巴里

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話(特)本局六七三番
電話本局四九八番
定期預金 六ヶ月 年四分五厘
當座預金 百圓に付日歩 五厘
特別當座預金 同日歩 九厘

醫院案内

本郷區

…(診察時間)…
○産科、婦人科 入院應需
月、水、金午前 橋爪病院(浪花二六〇番)(日本橋區龜島町一の廿九)
毎日二時ゟ五時迄 自宅(下谷二四八七)
本郷區眞砂町十五番地
醫學士 橋爪哲造

神田區

内科橋田病院(錦町三丁目電車停留場側)
●隔離室設備(診察午前 入院隨時)
院長 醫學士 橋田茂重
病院 神田錦町三ノ一九(電本二三三九)
自宅 牛込甲良町一一(電番一九六)

東京神田區美土代町三丁目十七番地
内科一般 午前宅診 午後往診 板垣亨
電話本局貳千九百七十番

耳鼻咽喉科
神田區美土代町一丁目十六番地
醫學士 榊田義衛
電話本局三一九〇

京橋區

◉院長ドクトル木村順吉
京橋丗間堀一丁目角(電話京橋一六七〇)
婦人科産科 木村病院

日本橋區

日本橋區濱町三丁目七番地
電話浪花一六〇番
濱町 産科婦人科 小林病院
院長醫學士 小林八十七
醫學士 大瀬貴明
醫學得業士 杉原格藏
醫學士 佐野綱次郎

◉産室增築落成
日本橋區濱町貳丁目十一番地
産科婦人科稲生醫院
電話浪花三三四三番

岩佐病院 日本橋區蠣殼町二丁目廿三番地(電話浪花六七九番)
診察時間 自午前九時至正十二時
内科婦人科 院主 岩佐純
内科 院長ドクトル 岩佐新
外科 醫學士 山村正雄
産科婦人科 醫學士 佐久間兼信
腦病脊髓病 醫學博士 土田卯三郎

麹町區

醫學博士 榊順次郎 毎日午前診察
醫學士 久保徳太郎 日曜水曜午後婦人科的外科
醫學士 田代謹二 火木土曜日午後泌尿器病及内科
●施療火木土午後自一時至二時
●施療姙婦産婦ヲ取扱フ
婦人科産科 榊病院
麹町區三番町三三(電話番町三〇三三)

内科診察 宅診午前及夜間九時迄 往診午後
麹町區四番町四番地(電話番町貳三八四)
醫學士 中山敏樹

淺草區

◉小兒科 殊に營養障害
淺草下平右衞門町十七
内山小兒科醫院
院長ドクトルメヂチーネ 内山好十(電下二參六五)

内田病院
淺草區新福井町二(瓦町電車停留場際)
病院落成に付隨時入院の需めに應ず
小兒科専門 院長醫學士 内田愼太郎
(午後診察)副院長醫學士 瀧原五郎(電話下谷七一八)

芝區

◎産科婦人科
芝明船町十九虎門外
電話芝二六四二番
櫻井克巳

下谷區

産科婦人科 天本醫院
下谷區仲徒町二丁目卅五番地
院長醫學士 天本治
(入院隨意) (電話下谷二六六九)

牛込區

産科婦人科
小兒科
牛込區納戸町三六
電話番一〇四〇番
野中醫院

赤坂區

腦神經精神病
東京赤坂青山病院
帝國腦病院
院長ドクトル 齋藤紀一
醫學士 田澤秀四郎
醫學士 望月温象
電特芝二七四五 芝二六六五

小石川區

◎産科。婦人科
◎内科。小兒科
小石川西江戸川二六
電話番町(一四二六)
森種太郎

府下

腦神經精神病科
東京龜戸町電話浪花二五五二
加命堂腦病院

御扇子
愛國婦人會御用達
京都寺町五條下ル東側
御影堂 持阿彌

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人取次販賣所　東京市京橋區桶町三二番地　田口組　(電話京橋九三二)

世の多くの婦人は

子宮病の治療を誤て居ないか

一概に子宮病と云ても其種類は隨分多く從つて治療法も種々あるが、一般婦人の自宅治療を見るに甚だ勝手氣儘で服藥は厭だ洗滌は面倒だ、さし藥は困ると病源を考へ藥を適用せず、自己の都合より割出した藥物應用である、爲に内服藥の必要なる症狀に向て外用藥を用ひ、外用藥の必用は内服藥のみを用ゆる矛盾の治療をして、子宮病の不治を嘆く婦人の多きは誠に殘念である津村順天堂の自宅治療法は一藥萬能主義でなく數種の加減内服藥と數種の外用藥を以て婦人病の根治を保證するのであるが今外用藥中將湯を使用すべき諸症を同病患者に告白す幸に自己の症狀を考慮して本劑を用ゆれば必ず滿足なる結果を得べし尚詳細を知らんと欲すれば詳しき容體を記して本舗津村順天堂へ申込れよ

●中將湯は婦人病一切の内服藥にて中將球は子宮内膜炎とか白帶、赤帶、こしけ子宮痙攣、子宮加答兒、膣炎、膣加答兒子宮爛糜、子宮惡臭、子宮搔痒、尿意頻促、月經時の疼痛、黴毒性子宮病等の特効あり殊に良夫の黴疾に罹り居る時は黴毒菌の爲に心付かざる内に子宮を害する事多ければ常に中將球を使用して本病を豫防せられよ不姙性と流產、子宮内膜炎の分泌物及び酸性の粘液は精蟲を害し不姙症を起し子宮の炎症は卵の發育を妨げ姙娠するも流產となる事多ければ本劑を使用して病根を斷つ事肝要なり

定價百二十個五圓四十五個二圓二十個一圓九個五十錢三個二十錢本舗は東京日本橋通四丁目(振替口座一六八〇番)津村順天堂です●取次全國各藥店

POMEROY FACE POWDER

貴婦人令孃達が純良なる白粉で日常にお化粧せらるゝとますゝ素顔の美を發揮せらる、世に尤も恐るべきはあき惡質白粉です、顔面に小き腫物を吹出す而已ならず終生恢復し能はざる斑點をのこす

ポメロー井白粉

は貴婦人令孃達が安心して御愛用できる白粉です

▲郵券四錢送附せば試驗用として全國無料郵送す

製造元　ポメロー井株式會社　英國倫敦カーナビー街

日本一手發賣元　ラ、ビルデ、バリー館　東京京橋區山下町十八番　神戸市生内前居留地上

MR.S POMEROY, LTD., 33 AND 34 CARNABY ST., LONDON.

毎日午前八時ゟ午後九時迄院長診察

皮膚病　梅どく　りん病　わきが　生殖器諸病　ぢ

東京淺草橋通瓦町廿八瓦町停留場横　中央醫院

婦人病ヒステリー症たむしにきび等皮膚諸病　梅どく　りん病　ぢ　消渇　婦人諸病

血の道　子宮病　月やくとまりたる病　子なき婦人

神經　記憶力減衰　陰萎夢精遺精早漏陰莖發育不充分　衰弱　わきが　生殖器病

▲病狀を記し郵券六錢を送れば其病を速治する專門醫中央醫院々長處方の特効新藥說明書を送る

東京淺草瓦町廿八瓦町電車停留場横　中央藥院

資本金八百萬圓

東京京橋區木挽町　株式會社　十五銀行　電話新橋　三〇番　一五三〇番　三一九三番

同日本橋區新乘物町　同　日本橋支店　電話浪花　一九〇一番　三二七四番　三五〇五番

一定期預金　六ヶ月以上年四分

一當座預金　日歩五厘

一特別當座預金　同　八厘

石鹸も色々ありますがおためしなさい此マルへー石鹸を如何なるあれ性の方でも大丈夫御安心なされ御膚の守りとなります

マルへー石鹸　一個廿五錢　三個入七十錢

大阪東區平野町五丁目　マルへー石鹸本舗　堀口平兵衛　振替口座大阪八四一番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治四十四年四月十五日發行（毎月二回一日、十五日）
（定價金三錢五厘一ケ月金七錢郵税不要）廣告料一行金六拾錢
編輯人竹内貞三　發行兼印刷人山澤俊夫
發行所　東京麹町區飯田町　愛國婦人發行所　●電話番町千七百四十五番　●同五百二十番
印刷所　東京市小石川區久堅町　博文館印刷所　●振替貯金口座東京壹三八一番

愛國婦人廣告取扱
神田三河町一ノ一九　博報堂
京橋區宗十郎町一七　正路喜社
愛國婦人海外廣告一手取扱
京橋區南紺屋町七　興星社
神戸市元居留地仲町三八　東洋廣告取次會社
神田須田町廿七　金蘭社
京橋區　廣告社

百花の滿開に比すべき大發展記念號

婦人世界春季增刊
花の巻

四月十日發行　第五號　一册　拾五錢　郵税一錢　一年分　一圓五十錢　郵税共

◎袈裟御前論　三輪田女史　田中義成　岡部精一　長谷川時雨　井上博士　梶田半古　大森文學士　池邊義象　島村抱月

◎日本髪と束髪の優劣　三好博士
◎櫻は日本の國華　風谷
▼歴史講談『譽の夫婦』
▼初めて肩揚を下した時
◎婦人と獨身生活　宮川壽美子　三輪田元道

▽我國の花は世界に冠絶す　村井弦齋　下田歌子
▽女學生の化粧と服装

◎花嫁時代の失敗談　矢島楫子　鳩山春子
▼花を見て一番美しいと思つた時
▼花ことば集
◎お花見のお辨當　弦齋夫人
◎名士の一番好きな花

◎婦人世界五周年所感　鳩山春子　嘉悦孝子　棚橋絢子　山脇房子　矢島楫子　跡見花蹊

發行所　東京京橋南紺屋町　實業之日本社　（郵便振替貯金口座三二六番）　（賣捌全國各地書店）

東京本店　堀内伊太郎　大阪支店　全國取次藥店
定價　金五錢　金拾錢　金參拾錢　金五拾錢　金壹圓

—美—

シモンクレーム

佛國レモン會社製

羽二重のやうに滑かに薔薇の如く美しく色を白く艶をよくする美顔用

三越呉服店を始め到る處の化粧品店及小間物店にあり

—美—

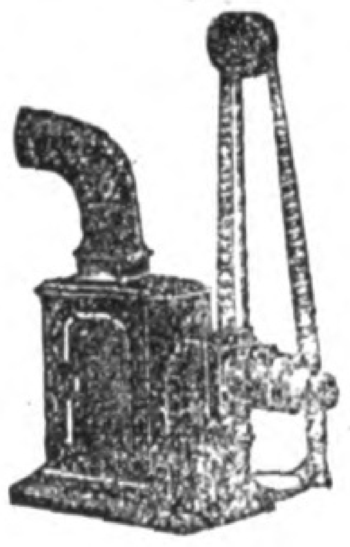
●東洋一製造大販賣　卸し小賣
◎夜具蒲團　綿類　ざぶとん
諸官省御用
（や）
外濠線駿河臺下停留場前
神田表神保町二
矢田本店
電話本局二〇一八番
市内無賃配達
●階上縱覽御隨意　珍柄高等品澤山有り
●綿質保險附●確實大勉强●正札引なし

無料贈呈
最新米國製寫聲機兩面盤レコード特賣表
◎本表所載新「レコード」多數輸着
◎四月一日より發賣せり御高需奉冀候
天賞堂本店
天賞堂各支店

めいせん
ちゝぶ　伊勢崎
帶地類其外太物唐物
東京人形町通りよし町
赤のれん
おむなや本店
電話浪花四三四五番
めりんす友染新がたは
本店の向ふまへ
おむなやめりんす店

御名代東伏見宮親王殿下御嘉納藥
故赤十字社病院長醫學博士橋本子爵處方
救世丸
胃腸肺病　原因療法
强力なる消化、殺菌、防腐、滋養の作用を具備し胃腸を健全ならしめ諸傳染病を豫防するに卓効を奏し征露丸に改良を加へたるものなり
宮内省侍醫岩佐病院主岩佐男爵處方
壯婦丸
婦人諸病　民間療法
ヒステリー、子宮病、産前、産後、血の道一切又めまひ、頭痛、不眠、便秘、神經衰弱等には男女共に偉効を奏し貴女紳士間に信用を博せしものなり
○藥價一日拾錢○三日參拾錢○一週七拾錢○二週壹圓參拾錢○三週壹圓八拾錢
○販賣取次は本舗又は特約店へ申込るべし
東京深川公園　本舗　合資會社福井堂
電話長浪花五六九　振替東京二三六六

新生物は勿論古物にても絹布類は何品にかゝはらず色抜きをなして元の白生地の如くし再び友仙、更紗、小紋染など御好みに應じて美麗に染直し新物と少しも劣らぬ様するのが弊店獨特の技術です
東京市麹町區麹町二丁目七
京星社東京支店
電話番町貳參參七

活動寫眞器械

フキルム及幻燈繪ランプ共
八圓五十錢　内地送料六十五錢
拙店輸入ノ活動寫眞機ハ幻燈兩用獨逸製ノ最モ完全ナル品ナリ

洋食道具一組　（一圓三十五錢　一圓九十錢）
コーヒー道具一組　（一圓四十五錢　一圓七十錢）
土路遊道具一組　（一圓三十八錢）
智恵の棒ツナギ　（甲七十五錢　乙五十錢）
各送料廿錢　同十錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附録　愛國婦人會記事

本部記事

▲總裁宮殿下御西下　既報の如く本會總裁宮殿下には赤十字社總裁宮殿下と御同伴、副會長伯爵夫人阿部篤子、評議員有島幸子、第一部長三橋勝到、事務員黑田剛、松井家令、吉田御用係等の諸氏を隨へさせられ、去る一日午前八時十分新橋御發車、石川香川兩支部會員總會及富山支部役員總會へ御台臨の爲め御機嫌麗はして御西下遊ばされたり。（總會狀況は次號に掲載す）

▲第十回總會準備事項　春色漸く深うして本會第十回總會期日も次第に近接したるが其の準備事項左の如し。

一、皇后陛下の行啓を仰ぐ事、
一、會場は日比谷公園、
一、開會月日は五月十日前後の豫定、
一、記念品は紙幣入
一、參列者往復汽車汽船賃金割引の事、
一、來賓に對し總會の翌日九段偕行社にて茶話會を開催する事、
但し來賓は會長の招待狀を有するものにして佩有功者、幹事以上の職員其他、
一、濱離宮其他拜觀出願の事、

▲教養所新入兒童入所式　本年度本部教養所に收容すべき兒童數は既報の如くなるが去る三月二十九日是等兒童の入所式を教養所內擊劍道場にて擧行し、松井教養所長代理の懇切なる訓示に引續き、一川寮監の訓話ありて式を終りたり、當日兒童に附き添ひ來所したる支部事務員及父兄等も教養所の設備の整頓、職員の熱心に對しいと滿足の意を表して退所されたり。

▲囑託
函館支部顧問　北守正直
右頭書の通り囑託（四十三年十一月廿四日）
長崎支部長　犬塚しつ子
同　顧問　犬塚勝太郎
右頭書の通り囑託（四十三年十一月廿八日）
島根支部長　高岡梅子
同　顧問　高岡直吉
宮崎支部長　有吉久子
同　顧問　有吉忠一
右頭書の通り囑託（三月廿一日）
朝鮮本部顧問を囑託す（三月廿四日）　朝鮮總督府總務部長官事務取扱　小松緑

東京支部

▲幹事茶話會　當支部幹事茶話會は去る三月二十七日午後一時より九段偕行社樓上に於て開催されたり、此日春未だ淺けれども絶好の茶話會日和とて定刻前より陸續來會され、やがて餘興場を開き薩摩琵琶、落語、曲藝、筑紫琵琶等の催ありて興と共に時は移りて食堂に入り折詰等の饗應あり、和氣靄々の裡黃昏開散したり

因に當日茶話會席上に於て前號掲載の如く阿部文部長の演述あり、尙參列者總數百九名なりき。

群馬支部

●明治四十三年度事務成績

▲現在會員　特別會員千五百九人、通常會員一萬三千百八十五人、有功章佩有者百七十三人なり。

▲會費の概況　本年度に於ける水災と共進會との反動は一般經濟界に不況を呈するに至り會費の徵收上多大の影響ありしなり、而して水災に於ける被害の激甚なる實に其比を見ざる有樣にて殊に邑樂郡の如きに至りては三ケ月餘に亘る浸水にて郡民寢食の道に窮し身を堤上に避け漸く救助米に依て糊口を凌ぐ狀態なれば豫定の會費を納入する事は到底困難の狀況に陷りしも漸次回復の機を俟て熱心徵收に着手したる結果六千二百五十三圓六十五錢の醵集額を見るに至りしは一般職員の精勵の致す所なりと信ず。

▲職員の出張　支部長は部下を督勵し各幹事部に出張せしめ事務の處理會計の出納を明にし其他會員の存否を調査する等專ら整理に努めたり其他水災に際しては主事を各幹事部に出張せしめ會員の安否を問ひ會旨の普及を圖れり。

▲救護の概況　救護人員は六百六十九人にして之に對する本部配當額千三百九十四圓を以て夫々斟酌の上配當せり、又水害に於ける臨時救護金は本部の指定に依り床上浸水者を調査し百四十二人に對し各三圓宛を配當せり。

▲慰問袋　臺灣討蕃隊慰問袋募集に就ては本部所定の數量二百五十個に對し七百二十一個の募集額を見るに至れり此金額百八十圓二十五錢なり。

▲火災義捐　青森市の大火罹災者救濟の爲め支部長は各幹事部長を督勵して之が募集に盡力し特に前橋市役員の如きは自ら各戶に付て募集に盡瘁されたる結果金五百八十三圓九十二錢を募集し得たり。

▲水害義捐金　縣下水害罹災の狀態は實に慘澹たるものありたるを以て是が救濟の一端として各役員をして義捐金募集に盡力せしめ金五百三圓八十三錢を得、夫れ救濟の道を講じたり。

▲共進會と支部　共進會開催に方り會員休憩所を設け支部副長を始め評議員幹事及會員をして各自輪番茶菓の接待記念品の贈呈等を爲さしめ觀覽會員に便宜を與へたり。

▲新年互禮會　一月二十四日午前十時より市內赤城館に於て開催、支部長、同副長を始め役員六十餘名出席茶菓の饗應太神樂の餘興等ありて頗る盛會なりき

▲支部資金
基本金四千七百九圓六十錢四厘
救護金七千百三十三圓九十七錢六厘
經費二千二百二十八圓十五錢三厘

長崎支部

▲遺族接待　去る三月十日、當支部內大村步兵第四十六聯隊に於て戰病死軍人招魂祭の執行に際し當支部は特に遺族接待所を設け、犬塚支部長、秦副長其他評議員並に同地會員等二十餘名出張して參拜を畢り、後支部長以下は當日參拜の遺族三百餘名に對して夫れ〴〵湯茶を勸め、菓子箱を贈與する等折りからの雨天なるにも拘はらず懇ろに慰問の勞を致されたれば、參拜遺族一同大に感謝の意を表されたり。

京都支部

▲幹事部會員小會　當支部竹野郡幹事部は去る二月十日同郡濱詰村小學校內に於て通俗教育談話會を兼ね同村愛國婦人會員小會を開催したり。

先づ當日午前十一時開會、君ケ代の唱歌を奏し了りて小西委員開會の辭を述べ夫れより軍人遺族泉ふよ子外一名に對し四十三年度定期救護金を交付し、直に講演會に移りたるが林郡視學は「愛情に就て」一場の講演をなし、次に柴田網野校長、小路濱詰校長等の教育に關する講話其他小學校兒童の韻文朗讀及談話等あり蓄音器及福引の餘興ありて景氣を添へ、尙別室には兒童成績品を陳列し展覽せしめ、且つ茶菓を饗せし等非常の盛會にして午後四時過閉會一同散會せり。

高知支部

▲軍人遺族優待　去る三月十日濱田招魂祭執行に付き當支部に於ては軍人遺族優待の爲め式場附近に優待所を設け幹事部長猪股なへ子、幹事石原くら子、同俵八重子、同湯淺安意子、會員大達きし子、同小林つるよ子、同安達菊代子、同岩田鉚子、同中村育子、同佐野とく子、同小林郁子、同原いの子、同小林だい子等の諸氏其間に斡旋し參拜遺族を慰め出席者三百八十人に對し特製の菓子折を贈與したるが何れも皆其丁寧なる待遇に深く感謝の意を表されたり。

北海道支部

▲委員部總會　北流道支部空知幹事部由仁委員部に於て去る三月十一日會員第一回總會を同地尋常高等小學校內にて開催したるが、當日は先づ午後一時振鈴と共に支部評議員其他來會者一同着席、幹事諸橋かね子開會を宜し、幹事總代長谷川彌一郎氏開會の式辭を朗讀、次で諸橋幹事總裁殿下御影を開扉し一同起立敬禮君ケ代を合唱す、次に委員中村佐久彌氏戊申詔書を幹事代三宅わか子總裁殿下御諭旨を捧讀し、委員部事務取扱員持池秀松氏の事務報告あり、夫れより支部長代理として評議員西村爲子同小出仲子より軍人遺族に慰問品を贈與し終りて支部長河島樂子（評議員阿部恒子代讀）空知幹事部長稻見里惠子、同顧問稻見貞藏氏、主事吉田直太郎氏（事務員奥村政三代讀）岩見澤委員部幹事總代天野勢以子、村會議員後藤友太氏、長谷川彌一郎氏、軍人團由仁分會長山森嘉治馬氏等交々起ちて祝辭を朗讀し續ひて會員小松よし子の答辭ありて總裁殿下の御影を閉扉して式を終り式後夕張郡栗澤村長山田清太郎氏、支部事務員丸中孫一郎氏の講話あり休憩午餐後校庭に於て一同記念撮影をなし餘興として浪花節、劒舞、手踊等の催あり和氣靄々の裡に散會せり。

當日來賓の主なるものは支部評議員、空知幹事部長、同顧問、村會議員、隣接村長、軍人團分會長、新聞記者其他二十一名、會員參列者五十五名、小學校女生徒二十四名、合計百十五名なりき。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

因に本會開催の効果として見るべきものは一般に本會の爲め注意を惹起したるは勿論軍人遺族に對する本會の優遇に關しては少からず來會者を感動せしめ又當委員部四十三年度末會員現在數は七十三人にして女子人口百人中三人の比なりしが本會開催の結果入會申込をなしたるもの通常會員二十人、特別會員三人あり總計九十五人に達し女子人口百人中四人の比例に增進し尙大に發展の見込なりとす。

岩手支部

▲支部例會　當支部例會第一回は去る三月十四日午後一時より縣會議場に於て開催笠井支部長開會の挨拶あり宮地主事今後每月第二火曜日に開會する所以を述べ夫れより山崎布敎師の精神講話久慈醫學士の衞生講話本縣衞生課技手大竹齋藤二氏の水及石鹼に對する實驗等あり來會者笠井支部長を始め各職員及一般會員約三十餘名にして皆熱心に聽取せられ散會せしは午後四時半頃なりき。

茨城支部

▲支部總會　當支部第一回總會は既報の如く去る三月十九日水戸市縣會議事堂境内にて擧行されたり、夜半の雨雪漸く晴れなんとする午後一時となるや參會諸員着席しやがて午後一時三十分瀏喨たる奏樂中に兩殿下は各隨員を從へさせられ御着あり直ちに坂支部長の御先導にて式場に御台臨遊ばさる、斯くて支部長開會を宣し、總裁殿下には左の如き諭旨を賜はりたり

諭旨

愛國婦人會茨城支部は會員漸次增加し會務亦整ひ茲に第一回總會を開くに方り諸氏と親しく相見るは最も喜ぶ所なり惟ふに本會の事業は年を逐ふて發展し其成績觀るべきものありと雖も忠愛慈善の主旨を貫徹し遺憾なからしめんには前途尙ほ容易ならざるものあり諸氏幸ひに心を同うし力を戮せ以て斯業を將來に完成せん事を望む

之に對し支部長坂達子は左の答辭を奉る

奉答文

愛國婦人會茨城支部第一回總會を開くに當り總裁殿下の御台臨を辱うし親く優渥なる御諭旨を賜はりたるは誠に無上の光榮といふべし當支部が明治三十四年創立以來曠古の大戰役に際して聊か微力を致し漸々今日の進運を見るに至れるは偏に　殿下の厚き御保護を賜にして深く感謝し奉る所なりさはれ國運の發展に伴ひ會務いよ／＼擴張を要するの時にしあれは達子等支部員一同今より一層勉勵して事業の發達を圖り以て優渥なる御諭旨に副ひ奉らむことを庶幾ふ謹みて答へ奉る

次に茨城支部副長木間瀨房子は左の如く會務の報告をなす

當支部は明治三十四年の創立に係り三十七八年戰役を經て會員ます／＼增加し四十三年の末に至りては一萬二百二十八名に達し其の會費一箇年の收入額五千貳百餘圓に上れり

當支部は三十七八年戰役に際しては戰死者準戰死者の遺族及癈兵の救護に努め定期及臨時の救護金を給與し其の他出征軍人及傷病兵並に出征軍人家族遺族の慰問等に盡力せり

戰死者準戰死者の遺族及癈兵の定期救護は其後引續き行ひ來り今日迄に救護せし總人員は二百七十四名にして現に救護中のもの二百二十四名あり

當支部は創立以來前述の如くにして漸漸進運を示すに至りたれども尙資金を增加して規模を擴張し現在の事業をして遺憾なからしむると共に將來の不虞に備ふるの計を爲すは最緊要といふべし就ては會員心を同うし力を協せてますます斯業の發展に努め給はむこと懇望に堪へざるなり

報告終りて、會長岡部子爵夫人代理として本部評議員濱尾男爵夫人は左の祝辭を朗讀さる

愛國婦人會茨城支部は本日を以て總裁殿下の台臨を仰ぎ第一回總會を開かるゝは抵子の最も慶賀する所なり回顧すれば本會が明治三十四年に設立の基礎を定めし以來各姉妹方の熱誠なる盡力は年を逐ふて良好なる效果を收むるに至れるは洵に欣喜に堪へざる所なり然れども遺族癈兵救護の實を完うせんには前途尙は幾多の拮据經營に待たざるべからず姉妹方よ希くは倦ます撓まず殿下の台旨に副ひ奉られむことを聊か所思を述べて祝詞となす

次で支部長は有功章御親授あらせらるべき趣を宣し　總裁殿下より坂達子外九十三名に對し順次有功章の御親授あり、尙又引續き癈兵並に軍人遺族に對し特別御下賜金あり、遺族總代陸軍憲兵大尉寡婦森まさ子、及癈兵總代陸軍工兵軍曹淺田重德の兩氏恭しく之を受け、之れにて式を終り、殿下は各隨員を從へ御機嫌麗はしく御退場あらせられ、次で一同解散したり。來會者約八百名。

徳島支部

▲委員部大會　當支部内麻植郡山瀨村委員部に於ては去る三月十九日をトし愛國婦人會と山瀨村婦人會とを聯合して同村山崎尋常小學校に於て大會を開催したり、當日は支部長及幹事、事務員各一名臨場あり午前十一時左記の順序により開會す、支部長は祝詞を朗讀され、事務員は會務發展上の希望を述べ午後一時二十分式を終る、因に同村々長は平素本會の爲め熱誠以て努力せられ爲めに本日の會合の如きにも來會者非常に多數にて有志の演說又は講演等もあり近時稀なる盛況を呈したり。

函館支部

●明治四十三年度事務成績

▲事務概況　當區經濟界不振の狀態は尙前年度に異なる事なく加ふるに漁況亦思はしからざるを以て其影響を受け新入者の少きは勿論會員中居所不明者或は退會申出のものにして處分未濟に屬するもの又は會費の未納者等多數に上り會務振興上意の如くならざるは遺憾なりき、然れども四十四年に在りては好機を見計らひ全力を注ぎ會員增募に努力するの計畫也

▲軍人遺族救護並慰安　軍人遺族並癈兵生計の狀況は例年の如く各戸に就き視察を爲し丙丁に屬すべきものと認むるもの二十戸に對し本部よりの定期救護金九十圓を一戸に付八圓より三圓迄の範圍内に於て之を贈與し同時に當支部より增加救護金一戸三圓より一圓迄の間に於て贈與したる金額三十七圓なり。

十月中當支部長には職員若干同伴遺族癈兵の全部を慰問し生計上稍不如意と認むるものに對し慰安の目的を以て反物代として一戸に付金一圓五十錢宛均一に之を贈與せり此の戸數二十三戸なり。

癈兵中病痾に罹りしもの一名あり藥價支辨の途なき狀況なりしを以て臨時救護として金七圓づゝ三回贈與せり。

▲軍人遺族慰藉　五月六日函館招魂祭典に方り例年の如く汐見町杉浦嘉七氏邸内を借受け遺族參拜者の休憩所に充て茶菓を供し紅白餅の折詰各一個宛を贈與し尙餘興に音樂を吹奏し蓄音器を演ず以て慰藉歡待に努めたり當日遺族並同伴者の參會せるもの百二十餘名なりき。尙當日前記杉浦嘉七氏より遺族者一同へ菓子の寄贈ありたり。

▲臺灣討蕃隊へ寄贈　七月中本部より討蕃隊へ慰問袋寄贈の勸誘方來意あり殊に該募集は狀況に依り五ケ年繼續數回募集せらるゝ趣なりしを以て本期に於ては當支部職員のみの寄贈に止め次期より一般同情者より募集する事とし其職員より寄贈せしもの金二十六圓五十錢及慰問袋二個なり。

▲青森市火災恤救金寄贈　五月青森市の火災は未曾有の慘禍なるを以て支部職員發起者となり區内有志家を訪問し金品を募集し同市に寄贈せしもの金九十六圓六十錢及衣類其他雜品二百四十八點なり。

▲軍艦訪問　八月十日支部長始め職員數名函館港に碇泊中なる第一艦隊旗艦薩摩を訪問し草花二桶を贈呈し以て聊か慰問の意を表せり。

▲職員の異動

一、囑託　函館支部長を安井吉野子に評議員を桑原しげ子、玉本しか子、高橋いち子、大條なか子、福原きさ子、國領せい子、松山さと子、櫻井春代子に、幹事を宮下のぶ子、大野わか子、熊谷たか子伊藤いち子に、主事を澁谷金次郎氏に、事務員を幡垣角市氏に、顧問を北守政直氏に囑託せらる。

一、解囑　函館支部長手塚とま子、評議員三好かぎ子、武藤八千子、幹事鳥居仲子は他支部内に轉住に付評議員章こと子顧問竹内與兵衞氏は辭任に付解囑せらる

一、死亡　評議員岩鼻きく子、事務員伏見竹三郎氏は病死せらる。

▲入營者見送　本年度函館區より近衞諸隊に第七師團に函館重砲兵大隊へ入營者出發の際には支部長始め職員には見送りをなせり。

▲新年拜賀式　一月八日函館區役所樓上に於て會員一般の新年拜賀式を擧行せり階上には　總裁殿下の御眞影を奉掲し一同奉拜、終て主事より會務の要項を報告し一同へ茶菓を供せり當日天候非常の險惡なるを以て參會者少數なりき。

▲職員會　本年中職員會を開き會務に關する事項を協議せし事五回なり。

▲會員の增減　四十三年十二月末日現在特別會員四百四十九人、通常會員一千三百二十六人、合計一千七百七十五人、賛助員二百九十一人にして、昨年末日現在會員數二千三百六十八人に比し五百八十五名を減ずるも其内居所不明にして遂に除分處分を執行したるもの五百九十七名あるより畢竟少數の增加を見たり。

愛國婦人第二百二十三號附錄　發行兼印刷人　山澤俊夫・編輯人　竹内貞三　發行所　東京麴町區飯田町　愛國婦人發行所　印刷所　東京市小石川區久堅町　博文館印刷所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人第二百二十三號附錄

日英博覽會より愛國婦人會に授與されたる賞牌

（表）

（裏）

明治四十五年四月十五日發行（毎月一日十五日二回）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

發行兼印刷人 山澤俊夫
編輯人 竹内貞三
發行所 麴町區中ヶ渕 愛國婦人會發行所
印刷所 東京市小石川區久堅町百八番地 博文館印刷所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN